大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2024年 第8週（2月19日～2月25日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加」

第8週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,114例であり、前週比1.1%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.65、3.02、0.66、0.56、0.36である。

感染性胃腸炎は前週比4%減の1,118例で、三島8.12、南河内7.81、北河内7.16、大阪市北部6.57、堺市5.95であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%増の597例で、堺市4.63、北河内4.44、泉州3.29である。

RSウイルス感染症は75%増の131例で、南河内1.44、大阪市北部1.21、北河内1.12であった。

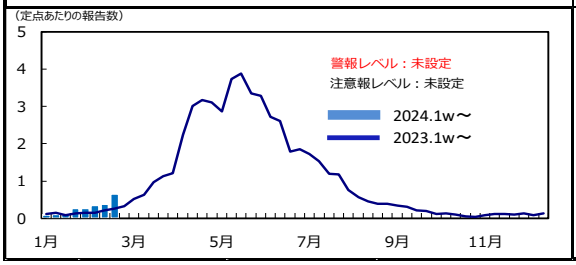
手足口病は4%増の111例で、泉州2.19、大阪市北部1.00、大阪市南部0.94である。

咽頭結膜熱は15%減の71例で、泉州0.71、大阪市北部・北河内0.64であった。

インフルエンザは37%減の4,117例で、定点あたり報告数は13.41である。南河内20.08、大阪市西部19.40、大阪市北部16.20、堺市15.86、北河内14.90である。先週に引き続き全ブロックで減少した。国内ではB型ビクトリア系統が多く検出されている。

新型コロナウイルス感染症は21%減の1,540例で定点あたり報告数は5.02である。大阪市北部6.80、南河内6.29、北河内5.68、大阪市南部5.63、堺市5.41であった。3週連続で減少した。

RSウイルス感染症



インフルエンザ

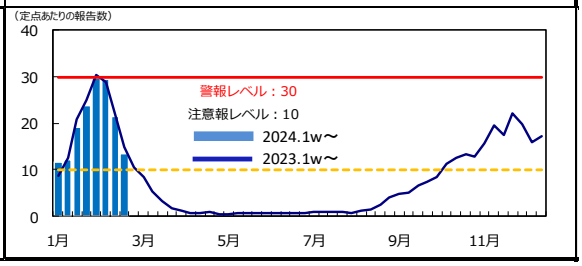


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第8週2月19日～2月25日）

第8週の順位	第7週の順位	感染症	2024年第8週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第8週の定点あたり報告数	2024年第8週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.65	4%減	5.72	10-14歳_11%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.02	5%増	0.35	５歳_13%
3	5	RSウイルス感染症	0.66	75%増	0.27	１歳未満_34%
4	3	手足口病	0.56	4%増	0.04	１歳_40%
5	4	咽頭結膜熱	0.36	15%減	0.09	３歳_20%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	13.41	37%減	14.74	10-14歳_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	5.02	21%減	-	80歳以上_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第8週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

侵襲性肺炎球菌感染症（大阪府感染症情報センター）
肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
肺炎球菌感染症（高齢者）（国立感染症研究所）

年別累積報告数（大阪府）

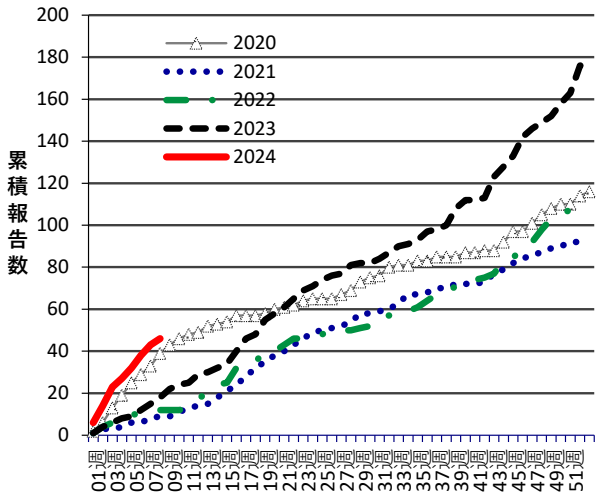


表２．大阪府全数報告数（2024年 第8週2月19日～2月25日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
４類感染症	**デング熱**	**1**							1		2
５類感染症	**アメーバ赤痢**	**1**		1							6
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	**3**		1						2	26
	急性脳炎	**1**		1							6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**2**		1		1					18
	後天性免疫不全症候群	**1**								1	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**1**								1	9
	侵襲性肺炎球菌感染症	**3**				1	2				46
	梅毒	**8**	1		1		3		1	2	189
	百日咳	**1**							1		6
結核 （2023年12月分）	**結核　新登録患者数：128名**　（内　肺･喀痰塗抹陽性　41名） （府内累積報告数　1,159名、内　肺･喀痰塗抹陽性　401名）										

（2024年2月27日　集計分）